

2017年6月30日

第3期（2016年4月1日から2017年3月31日まで）

## 貸借対照表及び個別注記表

株式会社 エイチ・ディ ベースモード

# 貸借対照表

(2017年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
( 資 産 の 部 )	69,018	( 負 債 の 部 )	83,592
流 動 資 産	68,789	流 動 負 債	83,592
現 金 及 び 預 金	1,675	買 掛 金	2,981
売 掛 金	13,467	短 期 借 入 金	75,139
商 品	49,727	未 払 金	3,721
前 渡 金	2,541	未 払 法 人 税 等	70
前 払 費 用	997	未 払 費 用	108
未 収 入 金	380	預 り 金	7
		返 品 調 整 引 当 金	1,100
		そ の 他 流 動 負 債	465
固 定 資 産	229		
有 形 固 定 資 産	229	( 純 資 産 の 部 )	△14,573
器 具 及 び 備 品	229	株 主 資 本	△14,573
		資 本 金	10,000
		利 益 剰 余 金	△24,573
		そ の 他 利 益 剰 余 金	△24,573
		繰 越 利 益 剰 余 金	△24,573
合 計	69,018	合 計	69,018

# 個別注記表

## 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

2. 資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産の評価基準及び評価方法

通常の販売目的で保有するたな卸資産  
評価基準は原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）によっております。

商 品 先入先出法

3. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定額法によっております。

4. 引当金の計上基準

返品調整引当金 期末日に予想される売上返品による損失に備えるため、  
将来の返品に伴う損失予想額を計上しています。

5. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理 消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜き方式によって  
おります。

## 当期純損益金額

当期純損失 65千円